

# 提案書

平成 19 年 9 月 6 日

総務省情報通信政策局地上放送課 御中

郵便番号 104-0031

住所 東京都中央区京橋2-5-7  
日土地京橋ビル8階

氏名 財団法人道路交通情報通信システムセンター

理事長 森下 洋一

電話番号

電子メールアドレス

以下のとおり、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等」に関して今後検討が必要と思われる課題について提案を提出します。

## 1 制度分野

- (1) 当財団（以下「VIC Sセンター」という。）は、平成8年以来、全国の主要道路に設置されている光ビーコン、電波ビーコン及びFM多重放送の3メディアによって、ドライバーに道路交通情報を提供してきている。現在、このサービスを受ける車載機の出荷台数は1800万台を越えるなど、我が国におけるITSの一翼を担い、安全で快適な道路交通環境の確立に寄与してきている。
- (2) 上記の3メディアの中にあつて、FM多重放送は、全国にあるNHKのFM放送基幹局及び中継局の設備を借用することにより実施しており、利用度も高く、有効に利用されているメディアである。  
しかし、FM多重放送であるため伝送容量等に限度があり、増大する道路交通情報や多様化、高度化するニーズに応えきれない状況が生まれつつある。
- (3) そこでVIC Sセンターとしては、FM多重放送を補完するメディアもしくはこれに替わるメディアとしてこのマルチメディア放送の利用に期待し、この道路交通情報の放送を可能とする制度の導入を希望する。

## 2 技術分野

- (1) 放送メディアの利用に当たっては、伝送容量は300k b p s程度を見込んでいる。
- (2) 携帯端末（車載型端末）へのサービスとしては、道路（高速道路も含む）での受信確保を考えた置局等が必要と思われる。

## 3 ビジネスモデル分野

## 4 その他

政府が昨年策定した「IT 新改革戦略」においても、「環境」や「安全・安心」への取組みの強化が重点課題になっており、道路交通の分野では高度なITSの実現が求められている。マルチメディア放送によって、提供する道路交通情報の内容充実と精度向上を図っていくことも、この要請に応えていくことになると思われる。